

# 商工会議所LOBO（早期景気観測）

-2019年10月調査結果-

## 調査概要

- 調査期間 2019年10月9日～10月31日
- 調査対象 200社
- 回答企業 120社
- 回収率 60.0%

### ※DI値（景気判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

なお、従業員の項目については、DI値ゼロを基準として、プラス値は人員不足感を表し、マイナス値は人員過剰感を表している。

DI値 = (増加・好転などの企業割合) - (減少・悪化などの企業割合)

業況・採算：(好転) - (悪化) / 売上：(増加) - (減少) / 従業員：(不足) - (過剰)

## 旭川市概況

※全産業の10月の状況を見ると業況DIは、前月より2.9ポイント悪化の▲20.0となった。

2017年9月以来26ヶ月連続でマイナス水準を推移している。

※向こう3か月の全産業における、先行き見通し業況DIは▲21.7、当月に比べ1.7ポイントの悪化が見込まれる。

## 旭川市全産業 DI 値（前年同月比）の推移

	2019年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 2019年11月～ 2020年1月
業況	▲13.0	▲16.3	▲16.0	▲16.1	▲17.1	▲20.0	▲21.7
売上	▲10.4	▲11.4	▲8.0	▲3.2	▲4.1	▲14.1	▲18.4
採算	▲13.1	▲15.5	▲16.0	▲12.1	▲12.2	▲15.8	▲25.0
仕入単価	▲40.9	▲44.7	▲41.6	▲29.9	▲34.1	▲39.2	▲42.5
販売単価	16.5	1.6	5.6	2.5	4.9	13.3	8.3
従業員	33.0	39.1	37.6	35.5	36.6	40.9	38.4
資金繰り	▲4.3	▲8.1	▲6.4	▲7.3	▲4.9	▲6.7	▲12.5

## 旭川市産業別業況DI値（前年同月比）の推移

	2019年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 2019年11月～ 2020年1月
建設	▲11.1	▲13.8	▲3.5	▲6.7	▲16.1	▲20.0	▲23.3
製造	▲10.0	▲9.4	▲19.3	▲19.3	▲13.8	▲11.1	▲18.5
卸売	0.0	▲15.4	▲16.7	▲12.0	▲4.1	▲11.5	▲15.4
小売	▲31.3	▲25.0	▲22.2	▲15.8	▲16.7	▲35.3	▲17.6
サービス	▲20.0	▲25.0	▲20.8	▲31.6	▲38.1	▲30.0	▲35.0

## 今月のトピックス（業界の声・経営上の問題点）

建設業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解体工事のコストが上がっていても、職人の手配がつきにくい。今後、競争激化で受注単価は下落する気配だがコストは下がる気配がないので、来年以降は採算が悪化することを予想している。（総合工事）</li> <li>・自社技術職員の不足、協力会社の技能職員の不足。（設備・その他）</li> <li>・公共工事において働き方改革の進展阻害要因の一つとして発注者側の姿勢にもあると思われる。（設備・その他）</li> <li>・下請け業者の人手不足が深刻化している。（建築）</li> </ul>
製造業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今、現状忙しく社員を増やすか悩んでおり、アルバイト・パートの考えもあるが、業績を伸ばそうと思っているのでどちらで増員するか。（印刷・出版）</li> <li>・業況悪化傾向にある。今後の見通しも決して良くない。（家具木材）</li> <li>・定年退職者の補充ができない。一部製造品目を他社に移転する予定。（金属窯業他）</li> </ul>
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上に関しては予定よりもいい傾向ではあるが、利益がそれほどついてきてはいない。（機械鋼材）</li> <li>・灯油の仕入、販売価格は10月に入り少し下げたものの、今後現在の状況がしばらく続くと思われる。（その他）</li> </ul>
小売業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月に入り消費税も10%になり天候・気温も下がり秋らしい季節となり秋・冬物商品も出揃いましたが来店客が少ない。キャッシュレス消費者還元制度も導入し店頭アピールするもあまり消費者の理解がなく、売上に結びつかない。（衣料品）</li> <li>・冬タイヤ・灯油販売において9月に増税前の駆け込み出荷があったため、10月はその反動が出ている。（その他）</li> <li>・9月は増税の影響で駆け込み需要があったが今後の落ち込みが当面の懸念事項。（自動車）</li> </ul>
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外の観光客の増加で特に札幌・苫小牧方面において忙しく働いている。この勢いで苫小牧方面に新工場を建設するか迷っている。労働力もベトナムより30名近くが働いている。（理美容・クリーニング）</li> <li>・地元高校からの積極的なインターンシップの受入れや、継続的に行っている出前事業が功を奏し新卒者2名の内定が決まった。（その他）</li> <li>・最低賃金の上げが経営を圧迫している。レストラン経営で野菜を大量に使うため、台風の影響による価格上昇が懸念される。（飲食）</li> <li>・冬場の人手不足。夏場については問題ないが働き方改革の影響がある。（整備）</li> </ul>

## 旭川市の産業別概況

産業	概況
建設業	<p>売上 DI16.7 ポイント悪化、採算 DI0.6 ポイント悪化、仕入単価 DI4.9 ポイント悪化、販売単価 DI10.0 ポイント改善、資金 DI 横ばい、従業員 DI8.4 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 3.9 ポイント悪化となった。業種別では、建築業横ばい、総合工事 7 ポイント、設備・その他 1 ポイント悪化となった。下請け業者の人手不足が深刻化しているとの声も寄せられている。</p>
製造業	<p>売上 DI7.6 ポイント悪化、採算 DI0.3 ポイント悪化、仕入単価 DI10.3 ポイント悪化、販売単価 DI1.7 ポイント悪化、資金 DI7.7 ポイント改善、従業員 DI12.4 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 2.7 ポイント改善となったが「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実態はほぼ横ばい。業種別では、食料品 14 ポイント、金属窯業他 10 ポイント悪化、印刷・出版 33 ポイント、家具・木材 13 ポイント改善となった。印刷需要の減少、紙離れの影響ありとの声も寄せられている。</p>
卸売業	<p>売上 DI12.5 ポイント悪化、採算 DI7.9 ポイント悪化、仕入単価 DI1.9 ポイント改善、販売単価 DI 横ばい、資金 DI3.6 ポイント悪化、従業員 DI1.6 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 7.4 ポイント悪化となった。業種別では、機械鋼材 25 ポイント改善、繊維・衣服等 20 ポイント、食料品 11 ポイント、その他 14 ポイント悪化となった。売上に関しては予定よりもいい傾向ではあるが、利益がそれほどついてきていないとの声も寄せられている。</p>
小売業	<p>売上 DI19.0 ポイント悪化、採算 DI6.8 ポイント悪化、仕入単価 DI17.6 ポイント悪化、販売単価 DI28.7 ポイント改善、資金 DI6.8 ポイント悪化、従業員 DI9.1 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 18.6 ポイント悪化となった。業種別では、食料品 25 ポイント改善、衣料品横ばい、その他 20 ポイント、自動車 48 ポイント悪化となった。9 月は増税の影響で駆け込み需要があったが今後の落ち込みが当面の懸念事項との声も寄せられている。</p>
サービス業	<p>売上 DI4.3 ポイント改善、採算 DI6.7 ポイント悪化、仕入単価 DI2.6 ポイント改善、販売単価 DI 15.0 ポイント改善、資金 DI10.8 ポイント悪化、従業員 DI2.2 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 8.1 ポイント改善となったが「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実態はほぼ横ばい。業種別では、ホテル・旅館 20 ポイント、運送 25 ポイント悪化、その他横ばい、理美容・クリーニング 100 ポイント、飲食 10 ポイント、整備業 50 ポイント改善となった。人手不足、コスト増、マーケット状況との声も寄せられている。</p>